

(吉徳 五月人形商戦・プレスリリース)

五月人形は初節句を迎える男児のお守り

甲冑セットに武将姿の子どもがかわいい「大将飾り」も登場



武将の甲冑をまとったかわいい作りの「鎧着大将飾り」(東京・浅草橋 吉徳)

◇男児誕生を祝い、そのお守りとして五月人形を

ゆかしい日本の年中行事である端午の節句を彩る五月人形は、男児の誕生を祝い、健やかな成長と幸せを祈る“お守り”です。

端午の節句の歴史は遠く奈良時代に始まり、江戸時代後期には現在の節句飾りの原型となる人形・鎧・兜が座敷飾りとなって広く普及しました。

今年の商戦の対象となる初節句を迎える男児の数はおよそ 21 万人（平成 29 年総務省人口動態統計から推計）と思われます。

商戦は桃の節句終了時からすでに始まっていますが、本格化するのは 3 月下旬から 4 月の上旬です。

◇今年の商戦のトピック。かわいい顔立ちの「鎧着大将飾り」

五月飾りの主役となる「内飾り」の定番は「兜飾り」と「鎧飾り」です。商戦は例年通り「兜飾り」中心の展開と見ていますが、ここ数年の傾向として、飾り方が“簡単”であると理解されたことから「鎧飾り」が予想以上の伸びを見せています。またその一方、鎧はかっこいいけど“重々しい”といったイメージを一転させるやさしい印象の「鎧飾り」も登場しています。それは、本来の甲冑モデルとはやや

別路線になりますが、目がパッチリとした男らしい顔立ちの人形を中心とした「鎧着大将飾り」です。かつての商戦にも同じようなモデルはありましたが、顔の作り

がより現代風にアレンジされています。将来イケメン確実な可愛い顔立ちの子どもが武将の甲冑をまとい、見る人が思わずほっこりとするセットです。価格は税抜き ¥110,000～¥170,000 です。定番の「鎧」「兜」のボリュームに比してその数は少ないながら、SNS 映えする今年の商戦のトピックです。

なお、商戦全体の平均価格帯（売れ筋価格帯：税抜き）は「兜」が¥150,000 前後、「鎧」が¥250,000 前後と見ています。

◇吉徳これくしょん『五月飾りと皇室ゆかりのお人形展』開催

「吉徳これくしょん」は、人形研究者として知られた吉徳 10 世山田徳兵衛（1896-1983）の遺した研究資料を主体とする日本有数の人形玩具のコレクションです。今年は天皇陛下のご退位、新天皇のご大礼など特別な年。長く皇室の御用を承っている吉徳ではこれらにちなみ 3 月 16 日（土）～ 5 月 5 日（日）の間、本社 4F の展示室にて吉徳これくしょん所蔵品による「五月飾りと皇室ゆかりのお人形展」を開催中です。本展では、宮中において皇族の子女方が天皇・皇后両陛下から初参内・初節句などの折に拝領される特別な人形である「御台人形」（おだいにんぎょう）5 点を展示しています。とくに大正天皇御幼時の御台人形を明治の児童文学者・巖谷小波（いわやさざなみ 1870～1933）が拝領、のちに吉徳に譲られた「乗馬」は必見です。他にも、皇室より拝領の品をはじめ、端午の節句にちなむ江戸時代から現代に至る武者人形・甲冑、ならびに浮世絵や古文献などの関連資料を展示しています。



大正天皇の御幼時の御台人形「乗馬」

◇吉徳は日本の美しい伝統文化“節句人形”を語り継いでまいります

創業 308 年、江戸最古の人形専門店（創業：江戸時代中期：正徳元年・1711 年）、株式会社吉徳（本社：111-8515 東京都台東区浅草橋 1-9-14、代表取締役社長：

12 世・山田徳兵衛、資本金：1 億円）<http://www.yoshitoku.co.jp/> は、東京・浅草橋本店はじめ全国直営 11 店舗（北海道・札幌、埼玉県・久喜、東京都・八王子、千葉県・柏/市原/白井、神奈川県・大和/横浜/平塚、大阪府・吹田、福岡県・小倉）および全国各地の特約店舗すべてを挙げて五月人形商戦に臨んでいます。

吉徳は、これからも日本が誇る美しい伝統文化を守り、家族の絆の証しともいべき“節句人形”を大切に語り継いでまいります。

以上